

報告書

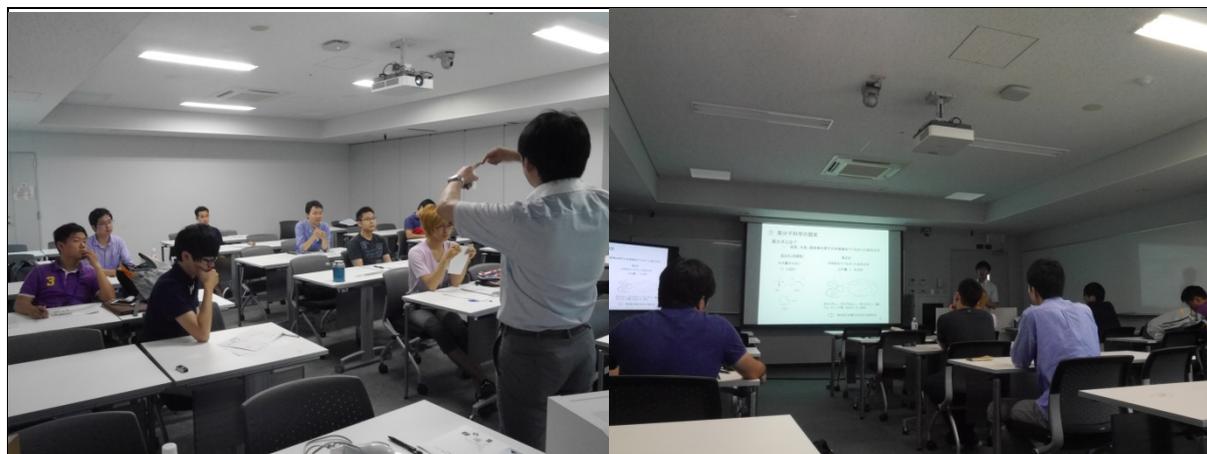
名称	(邦文名)	物質化学入門
	(欧文名)	Introduction to Materials Chemistry
講義題目	高分子材料の力学物性とレオロジー	
開催日	平成 28 年 7 月 25 日 (月)	
開催場所	文理融合型研究棟 (豊中) 7 階・共通講義室 3	
参加人数	10 名	

概要

名古屋工業大学の信川省吾先生にお越しいただき、必修科目「物質化学入門」の1コマを使って高分子材料の力学物性とレオロジーについてご講義いただきました。この科目では、物理学を主に専攻する修士1年の皆さんを対象にして、物質化学の基本である電子軌道や分子運動、分子集合挙動について講義を進めてきました。今回の講義ではその流れを継いで、物質化学研究の展開例として、高分子（ポリマー）の分子レベルの性質と材料としての力学物性との関わりについて基礎からお話いただきました。また比較的世代の近い先輩として、ご自身の研究職歴を踏まえたアドバイスも頂いたほか、産業と高分子科学の接点についても丁寧にお話いただきました。

主催者の先生からの感想

高分子材料は、学部まで主に物理学を専攻してきた学生さんには縁遠い物質ですが、日常生活で最も身近な素材といえます。講義では、様々な高分子科学の物性モデルが物理学者によって構築されたことや、産業において高分子物性の理解がいかに重要であるかという点などをわかりやすく解説していただきました。講義中は受講生からは盛んに質問の手が挙がり、馴染みのない分野への興味の高さが伺われました。受講生の視野を広げる良い機会になったと思います。講義は公開扱いとして、受講生以外のカデット履修生の参加もありました。



(作成者 特任助教 鈴木 晴)